

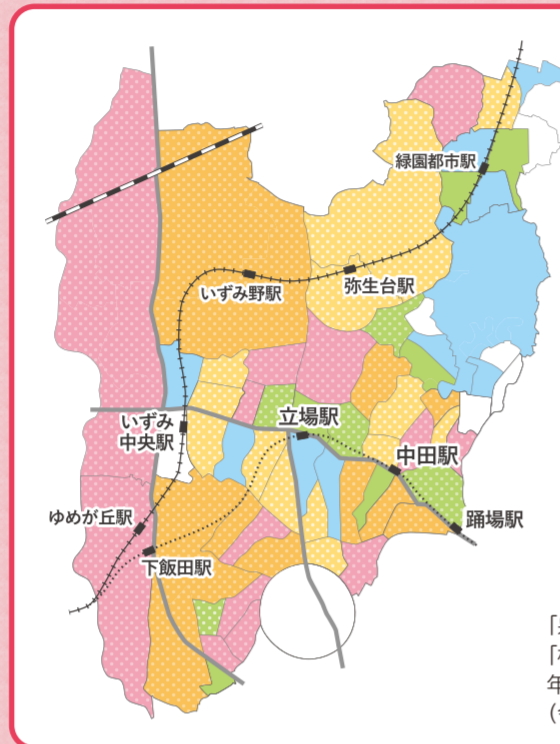
特集

自分が主役!

自分らしくありのままに輝く

地域共生社会を目指して

こんにちは、高齢・障害支援課のイズミです。今回は泉区内の活動を紹介させていただきます。医療や介護が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できることを目指す取組を「地域包括ケアシステム」と言います。



泉区の75歳以上の人口って市内で5番目に多いんだって!こんなに多いって知らなかった。

それなら、やっぱり高齢者に優しいまちづくりがこれから必要なんじゃない?

そうですね。75歳以上の分布割合も地域ごとに差があります。これからは地域の実情に合わせた取組を一人ひとりが考えることが大切です。「泉区アクションプラン」を参考に、自分らしくありのままに輝く地域をつくっていきましょう!



これからますます高齢化が進むって聞いたよ。僕にも何かできることってあるのかな?



地域ごとの取組紹介

上飯田地域ケアプラザエリア 下和泉地域ケアプラザエリア

新橋地域ケアプラザエリア

移動販売・出張販売

高齢化が進んでいる地区では、坂道が多かったり、徒歩圏内に買い物できる商店が少なく、買い物しづらいことなどが地域の課題です。

「近くに買い物をする場所がない」「買ったものを持って帰るのが大変」「自分で商品を見て選びたい」そのような声に応えるために、地域住民を中心に社会福祉協議会や地域ケアプラザと共に検討を重ね、販売を実施しています。



いずみ野地域ケアプラザエリア

お出かけサポーター

一人で外出することが困難な高齢者や障害者の通院や散歩、買物などへの外出を支援しています。また、身近な住民同士の顔の見える関係づくりを目的とした「お出かけカフェ」も開催しています。

温かい関係づくりの輪が広がっています。



踊場地域ケアプラザエリア 送迎支援

園芸療法による介護予防活動を行っている「ベルガーデン水曜クラブ」では参加者の送迎を行っています。参加者同士の交流の場にもなっています。



私も参加してみたいな



いずみ中央地域ケアプラザエリア

和泉小学校ベンチ

和泉小学校の4年生が、高齢者が安心して暮らすための取組の一環として2年前に高齢者が休憩できるベンチを学校の門の前に作製しました。今年度は高齢者の疑似体験や認知症を理解するための学習を行い、ベンチのリニューアルなど自分たちで考えた包括ケアの取組を継続中です。

参加した児童の声
座ったり立ったりするのがつらい高齢者を手伝ってあげたいです。



岡津地域ケアプラザエリア

避難所ヘルプカード(障害児・者向け)

見た目ではわかりにくい障害がありコミュニケーションが難しい人への支援の一環として「災害時、避難所の人に配慮が必要である事を伝えるカード」を作成しました。

西が岡小学校地域防災拠点区域限定で希望者に試行的に配布しています。



泉区アクションプラン完成!

泉区アクションプランとは高齢者を取り巻く状況や取組をまとめ、区全体で進める目標を明確化し、それぞれの立場でより具体的なアクションにつなげる道しるべです。「わたしのアクション」のページは、さまざまな立場での取組につなげるヒントを記載しています。



皆さんもできることから取組を始めてみませんか?